

高齢者の多様なニーズに対応する支援や見守りが、多様な主体から提供されている

後 2-11	それぞれのライフスタイルに合わせて社会参加を行っている	
3-1	高齢者や家族、専門職及び地域の方がニーズに合った地域資源を探しやすくなっている	介護保険外サービスをよく把握しているケアマネジャーの割合 ●% → ●%
3-2	民間企業等による日常の見守りと多様な支援・サービスがある	民間サービスを利用している人の割合 ●% → ●%
3-3	地域住民・団体による日常の見守りと多様な支援・サービスがある	地域の人に助けってもらう人の割合 ●% → ●%
3-4	状態に応じた移動支援や移動しやすい環境整備により、望む暮らしが実現できている	自宅からの移動に困難を感じている人の割合 ●% → ●%

4-1	幅広い地域資源の情報が集約され、探しやすくなっている	地域包括ケア情報サイト 閲覧数 ●件 → ●件
4-2	必要とする方に対して、見守りや支援、市場サービスが効果的にマッチングされている	【指標なし】(3-1と共通)
4-3	高齢者にとって身近な企業・店舗等が地域の高齢者を見守っている	企業・店舗等が地域の高齢者を見守っていると感じる高齢者あんしん相談センター職員の割合 ●% → ●%
4-4	民間企業が地域の課題や高齢者の困りごと解決に関わりやすくなっている	高齢者が抱える困りごとの解決に向けて、企業と連携できていると感じるSCの割合 ●% → ●%
4-5	地域の介護保険施設等による支援	「保険外サービスを提供する事業所が少ないと感じる」ケアマネジャーの割合 ●% → ●%
4-6	地域の人や団体が高齢者のニーズを知っている	健康状態や生活上の困りごとについて、地域の人がかかっていると答えた高齢者の割合 ●% → ●%
4-7	【地域福祉計画】地域の支えあい・見守りあい	隣近所との付き合いがほとんどない人の割合
4-8	高齢者を支える人や団体が活動しやすくなっている	団体が活動しやすい環境になっていると回答したSCの割合 ●% → ●%
4-9	公共交通の整備 バリアフリーのまちづくり	公共交通機関が利用しやすいと感じている市民の割合 ●% → ●%
4-10	地域の移動支援の提供体制が整っている	移動困難理由に「送迎してくれる人がいない」と回答した人の割合

5-1	福祉分野以外の持つ情報の活用や連携に向けた検討	参考資料1 令和6年(2024年)2月27日 高齢者計画・介護保険事業計画策定部会 高齢者いきいき課
5-2	地域包括ケア情報サイト	
5-3	福祉分野以外の持つ情報の活用や連携に向けた検討	
5-4	生活支援コーディネーターの活動(活動強化やサポート体制整備に向けた検討を含む)	SC向け研修及び定例会の実施回数 研修:2回 定例会:11回
再 2-9 3-1	相談窓口の場所や機能が知られており、高齢者や介護者が気軽に相談できる	在宅医療・介護連携にかかる多職種による研修会の開催回数・参加者数 ●●回 → ●●回
5-5	てくポ(ウェルネスプラットフォーム)	てくポ(ウェルネスプラットフォーム)を通じた市場サービス利用件数 12,011件 → ●●件
5-6	訪問型サービスB(訪問B)の助け合いコーディネーター	訪問B団体数 43団体(目標値なし)
5-7	100年サポート企業	就労的支援コーディネーター コーディネート実績 個別型:2件 → ●件 集合型:延306件 → 延●件
5-8	見守り協定	協定に基づく通報・連絡件数
5-9	【産業部門】SB・CB※(ソーシャルビジネス・コミュニティビジネス)育成	ソーシャルビジネス・コミュニティビジネス(SBCB)支援事業の参加者数 (事業未実施) → ●人
5-10	地域ケア会議における支援・サービスの検討、または抽出された課題を基にした地域資源づくり	08-5-6と連携して、地域ケア会議マニュアルに反映することを目指す
5-11	生活支援コーディネーターや就労的活動支援コーディネーターによるマッチングや民間企業の巻き込み	SC・就労的活動支援コーディネーターと民間企業が連携したイベント等の開催数 21回 → ●回
再 5-7	100年サポート企業	就労的支援コーディネーター コーディネート実績 個別型:2件 → ●件 集合型:延306件 → 延●件
5-12	介護施設等による地域貢献の促進に向けた検討	08-5-13とあわせて9期中に事業者ヒアリングや現状分析を実施することを目指す
5-13	協議体・地域ケア会議などによる地域課題の共有	協議体開催回数・地域ケア会議開催回数 ●回 → ●回
再 2-09 5-3	住民や民生委員等と地域の高齢者のつながり強化に向けた検討	
5-14	普及啓発(生活支援の担い手研修、てくポ、イベントなど)	・担い手研修開催数・参加人数 3回・50人 → ●回・●人 ・てくポと連動したICTでのマッチング開始を目指す
5-15	団体の立ち上げや運営支援(通所B・訪問B、SCの活動)	訪問B延活動回数 19,974回 → ●回
再 5-10	地域ケア会議における支援・サービスの検討、または抽出された課題を基にした地域資源づくり	08-5-6と連携して、地域ケア会議マニュアルに反映することを目指す
5-16	訪問Bによる移動支援	運転ボランティア人数・圏域ごとの移動支援提供団体数 23人・23団体 → ●人・●団体
5-17	総合的な移動困難者対策や民間主導の新たな移動支援に向けた検討	・移動支援部会(庁内)の開催数 2回 → ●回 ・検討結果の事業化を目指す

保険外サービス、ボランティアを利用している人の割合
26.6% → 30%